|  |  |
| --- | --- |
| 受理年月日 | ※ |
| 受理番号 | ※ |

**KEKクライオ電子顕微鏡・施設利用申請書**

大学共同利用機関法人高エネルギ－加速器研究機構クライオ電子顕微鏡利用要項に基づき、下記のとおり、施設利用を申請します。なお、利用にあたっては、当該研究施設の管理責任者及び役職員等の指示に従います。

（\*記述は簡潔にお願いします）

|  |  |
| --- | --- |
| 申請日 |  年 月 日 |
| 申請者 | 所属：職名：氏名：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 担当者連絡先 | 住所：〒氏名：電話：　　　　　　　　　　　FAX：E-mail： |
| 利用機種 | □Titan Krios G4（300kV）　　 | □Talos Arctica G2（200kV） |
| 利用形態 | ■一般利用 |
| オプション利用(測定解析補助・指導業務) | □有　　□無 |
| 課題名 |  |
| I.利用者 | 氏名１：所属： 職名：分担事項：例）グリッド作製とデータ測定氏名２：所属： 職名：分担事項： |
| II.利用計画 | １．クライオ電子顕微鏡希望日時：　年　月　日　： 〜　　年　月　日　　：２．オプション利用（有の場合）希望日時：　年　月　日　： 〜　　年　月　日　　： |

|  |  |
| --- | --- |
| III.利用の目的、期待される成果、従来の研究経過など | 例）これまでXXXについて研究を行い、均一かつ十分量のサンプルの精製に成功しているため、クライオ電子顕微鏡による単粒子解析を試みたい。サンプルの精製スキームの変更、クライオグリッド作製の条件検討、クロスリンクの条件検討などを包括的に行いたいので、KEKクライオ電顕の施設利用を行う。 |
| IV.測定試料 | １）試料名：例）タンパク質ホモ/ヘテロ○量体（分子量：\_\_\_\_\_kDa）２）形態形状：溶液（濃度：\_\_\_\_\_mg/mL）３）重量：\_\_\_\_\_μL４）法律上の安全性及び使用後の処理1.生物安全　　病原性・毒性・感染性：例）なし　　遺伝子組換え体を含むかどうか：例）含む バキュロウイルスで発現させたヒト遺伝子（P1）所属組織内外の倫理委員会等における承認手続きが必要となる調査、研究、実験：2.化学安全　　毒劇物を含むかどうか：例）含まない　　他の法令関連部質を含むかどうか：例）含まない５) 使用後の処理：例）残ったサンプルは持ち帰り、グリッドは廃棄。 |
| V.実験方法 | 例）グリッドをPIB-10で親水化処理した後、専用ピンセットでVitrobotにセットする。3μLのサンプルをグリッドに滴下し、ろ紙で吸ったのちに液体エタンにより急速凍結する。クライオグリッドをC-clip ring, C-clipで補強した後、Titan Krios またはTalos Arcticaにてデータ測定を行う。測定データはHDDにコピーして保管する。 |
| VI.必要とされる既設の装置・器具 | 施設にある装置・器具例）小型遠心機・PIB-10・Vitrobot・Talos Arctica (Falcon3)持ち込む装置・器具例）HDD |

注 Ⅲ.施設利用の目的は、平和目的に限ることとし、その判断は日本物理学会第33回臨時総会の決議３（日本物理学会誌23（1968）250）及びその具体的取り扱いを定めた第522回委員会議決定（日本物理学会誌50（1995）696）に準拠するものとします。